

O & K VOICE

株式会社オーアンドケー社内報Vol.99

2022年9月号



撮影者:倉知

日時:2022年7月24日(日)

名古屋場所千秋楽パーティにて

場所:名古屋観光ホテル

昨年10月に現役を引退した横綱 白鵬関、間垣親方(7月28日宮城野親方に改名)を襲名し親方として初めての名古屋場所

麒麟 本麒麟のコマーシャルに出演中!

コマーシャルの再現をお願いし、快諾頂きこの写真撮影を行いました

防災用長期保存食 ～常務 弓削～



最近の自然災害は、他人事とは思えない程身近なところで起こっています。もし災害が起きた時の為に、当社では数年前からリスク回避ができる様にBCP(事業継続計画)を策定しています。そのうちのひとつとして、防災用品や長期保存食を備蓄するようにしています。皆様のご自宅では、災害対策としてどのような準備をしていますか？今回は、街中でよく見られる防災用長期保存食についてお話していこうと思います。

防災用長期保存食を考える上でのキーワードは何でしょうか？

①保存期間 ②調理方法 ③重量 等ではないかと思います。



①保存期間



最近は、様々な保存方法が開発されているようで、長期保存で5～7年のものが主流だそうです。中には、25年(サバイバルフーズ)という長期保存商品が出てきました。しかし、あまり長いと管理していくことが大変です。
※賞味期限が残り1年近くになったら、買い足しのことも考えて消費していくとよいでしょう！



②調理方法



調理方法ですが、加熱式・非加熱式と大きく分けて2つあるようです。

加熱式は火を使う方法の物で、レトルト食品タイプと、駅弁等でお馴染みの紐を引いて加熱を利用するもの(加熱式容器※)があるようです。非加熱式は、基本乾燥している食品に水を足して食べるものや、缶詰などそのまま食べるものがあるようです。

※加熱式容器・・・紐を引っ張ると、容器の中の水袋が破れ、酸化カルシウムと水が化学反応を起こして発熱。ブクブクと音を立てながら熱々の蒸気が発生し、お弁当を温めていく。

③重量



重量も大切です。いざ緊急時に持ち運べる重さも限られています。20kg・30kgも大丈夫！という人はなかなかいませんので、避難しながら運搬することが大変です。一般に言われる公的支援が届くまでの2、3日分を目安にすると1人5～10kgくらいでしょうか？避難時には食べ物だけではなく身の周りの物もあるので、重さも考えて準備することが大切です。

上記①②③を考えると、街中の防災グッズ売り場で取り揃えてみるのも良いですが『登山・キャンプ売場』を覗いてみると長期保存ができ商品も少し変わったものが販売されています。

変わり種では、【宇宙食】という長期保存食があります。防災という視点では販売されていませんが、5年ほど持つようです。“もしもの時”と言うのは無いことが望ましいのですが、視点を変えて取り入れてみるのはいかがでしょうか？





ベビーチェアの危険性 ～次長 石井～



子育て中のパパ・ママのお出かけを快適にサポートをするため、多くの商業・公共施設ではおむつ交換台やベビーチェア・ベッドなどが設置されることが多くなりました。私たちが管理する施設でも、清掃範囲として皆さんに衛生的に維持して頂いています。

以前もVOICEで紹介しましたが、当社では、「清掃だけじゃない！」サービスを拡大する為にコンビウイズ社の製品を取り扱うことになりました。(**Combi** コンビウイズ株式会社)

メーカーによると、施設管理者には定期的に器具の点検のお願いを促しているようですが、目視による点検のみで終わっているのが現状のようです。そこで、先日、設置して10年以上経っている施設にて独自に点検を行う事にしました。その中には、下写真のように取り付け不備や危険な状態なものがいくつかありましたので、皆さんもお子さんやお孫さんの為にご利用される場合は注意をしてください。

見た目は普通のベビーチェアです



点検のためにパネルを外すと…



赤ちゃんの体重を支える躯体の部分が錆びて腐ちています。
※切れてしまっているので、床には固定されていません。パーテーションにビスで固定されていますが、10Kg以上の力で引っ張れば取れてしまうと思います。

ちなみにこちらに関しては、使用禁止の貼り紙と交換の提案を行っています。

普段見えないところに子供への危険が潜んでいます。力を入れて引っ張るなどして安全を確認してから大切なお子さんを座らせるようにして下さい。

[編集長] 私も子どもが小さいため、出先では上写真のようなベビーチェアやおむつ交換台を利用していますが、今回の記事を読んで非常に怖くなりました。また、施設側は定期的な点検を行うなど、子どもの安全を守って頂きたいですね。当社もコンビ製品取り扱い企業としてそのお手伝いをさせていただきます。



社長の独り言

～セミの一生 幼虫7年+成虫7日?～



地上に出てきたセミの寿命は1週間程度で、「セミの一生は、短い」と言われています。セミは、カメムシ目に分類され、カメムシ・アブラムシなどの仲間で「鳴く昆虫」の一つです。世界には、1600種類もいると言われ、日本にはその内30種類ほどが生息しています。

代表的なセミの種類

[鳴き声]	[種類]
●「ジージリジリジリ」	アブラゼミ
●「ミンミンミン」	ミンミンゼミ
●「カナカナ」	ヒグラシ
●「シャーシャー」	クマゼミ
●「ツクツクオーシ」	ツクツクボウシ

鳴いているセミは、当然、成虫です。成虫は、木の幹などに卵を産み、卵から生まれた幼虫は土の中に移動して永い期間を過ごし、やがて成虫となり地上に出てきます。成虫と幼虫の期間を比べると、幼虫の期間が長く成虫の期間はとても短いという特徴です。幼虫の期間は数年から7年くらい、永い場合は10年以上そのまま土の中で過ごすともいわれています。

鳴くのはオスでメスは鳴きません。オスは、メスに自分のいる場所を鳴き声で知らせる求愛行動を行っています。ミンミンゼミ・ツクツクボウシなどは、鳴くとそのあとぱっと飛び立っていますが、アブラゼミやニイニイゼミなどは、鳴いてもそのまま動きません。動いてメスを探すセミと、鳴いてメスを呼ぶ2種類のセミがいるようです。

2019年5月広島大学「中四国地区三学会合同大会」高校生の部で、笠岡高校当時3年の植松蒼君が「セミの寿命一週間は、俗説」「セミの成虫は、1カ月くらい生きる」という研究で最優秀賞を受賞。植松君は小学校1年生頃から独自で調査し、本格的には、2016年7月中旬から9月中旬にかけ調査を繰り返したそうです。



アブラゼミなど863匹にマーキングし、15匹を再捕獲。その内4匹を再再捕獲。その結果、アブラゼミが32日間、クマゼミ15日間、ツクツクボウシ26日間の寿命を確認しました。彼はその後、調査の精度を高めるためにセミの鳴き声の波形を専用ソフトで解析し、それぞれの個体を把握する方法の確立を目指しているようです。※その後をネットで調べましたが資料はありませんでした。

以前から「1カ月くらい生きる」と言われていたようですが、実態調査したことは無かったようで、この彼の調査は大変意義があったようです。「常識を疑うことは科学の基本」を再認識した出来事です。

見習うべき行動ですね！



次号はVOICE発行100号 記念です！

次号9月25日発行のVOICEは、創刊から100号目を迎えます。

2014年6月に1号目が発行され、8年以上皆さんに読んで頂いています。

制作経験のない社員達の手探り状態で始めたことで、つたない内容もあったかと思いますが、毎月目を通してくださりありがとうございます。

右写真は創刊当初のもので、モノクロ両面1枚の社内報でしたが、現在は少しずつページ数が増え内容も充実させていけるよう社内で話し合いながら日々制作をしています。

そこで、今までの感謝の気持ちを込めて、100号目では皆さんに楽しんで頂けるような記念企画を考えていますので、ぜひ、ご一読ください！！



2014年6月創刊号

毎月、安全衛生委員会を実施しています

当社は、労働安全衛生法に基づき安全衛生委員会を設置し、産業医の富田先生(産業医事務所:こころめいと)から助言や指導をして頂きながら、毎月調査審議を行っています。安全衛生委員会は、労働者の意見を反映しながら、労働者が危険や健康被害を防止対策するために設置されています。

ここ数ヶ月は、“高齢者の特徴”について審議されています。そこで、7月28日に審議された内容を紹介しますので、皆さんも健康被害防止の対策として参考にしてみてください。



■フレイル～「長生き」から「健康で長生き」へ～■

フレイルとは、年齢を重ねることにより心と体の動きが弱くなってきた状態のことを言います。その状態のままにしておくと、心身の機能がさらに低下して健康障害を招きやすくなります。そこで、高齢者の健康づくりには、心身の変化に対して生活習慣の改善に取り組むことが大切です。

【フレイルが進行していく様々な要因】

- ・生活習慣病
- ・持病の悪化
- ・うつ状態
- ・認知症
- ・生活環境の変化
- ・ストレス
- ・独居・低栄養

【フレイルの兆候】

- ・外に出る機会が減ってきた
- ・歩く速さが遅くなってきた
- ・外出するのがおっくうになる
- ・握る力が弱くなる
- ・飲み込みにくい
- ・食欲がない
- ・むせやすくなった
- ・体重が減ってきた

【フレイルの予防】

- ・運動・・・適度な運動で筋力低下を防ぐ
- ・栄養・・・よく噛み3食バランスよく食べる
- ・社会参加・・・フレイル予防のカギ！買い物や通院などの外出で身体の活力が増え、人との会話や交流も生まれる



異性のトイレ清掃を考える

清掃スタッフのための技術情報マガジン「ビルクリーニング8月号」に、高校3年生の男子生徒がNHKの情報提供窓口「ニュースポスト」に寄せた意見と、その意見に対するWEB記事の反響が大きかった事、また、今後の清掃における影響を考察した記事が掲載されていましたので紹介します。

■高校3年生男子生徒からの意見■



銭湯で頭を洗っていると、女性従業員が近くに来てシャンプーを詰め替え始めたそうです。“とても恥ずかしかった”と述べられています。男性トイレも用を足していると後ろに清掃中の女性がいいますが、なぜ男性は我慢しないといけないのでしょうか。「男だからそれくらいにするな」という風潮が日本にあるからかもしれませんが、男性利用者が不快と感じていること自体が問題だと言う意見でした。

「近年では、若者(主にZ世代)を中心に、ジェンダー平等の理解が進んでいるため、いくら仕事とはいえ、裸になる空間と生理現象を落ち着かせる空間に、異性がいることへの違和感と不快感があるのかもしれない。価値観と文化が急速に変化する時代だからこそ、利用者のニーズも変わりつつあるのだ。」とこの記事を担当された比地岡さんは述べられています。

では、作業側である当社のトイレ清掃はどうでしょうか？今回は、14年以上現場を担当し、数々の問題を解決してきた営業部の藤原さんにインタビューをしてみました。

10年ほど前には、異性のトイレ清掃が気になるなどのクレームを受ける事がありました。単純に同性が清掃を担当すればいいですが、やはりそこには人手不足や作業時間の問題が発生してきます。そこで、色々と思案した結果、施設営業中のトイレ清掃については以下のような対策を取り入れることにしました。



営業部 藤原美紀

*男女2名セットで巡回清掃を行う

*清掃中に異性の利用者が入ってきたら、一旦その場を去る



まず、現場によりますがエアポートウォーク名古屋では男女のクリーンスタッフが一緒に巡回し、男性は男性のトイレを女性従業員は女性のトイレを清掃します。2名で巡回して清掃箇所を2倍にすれば、人員や時間の問題はクリアできます。そして、男女一緒に巡回することで、すれ違うお客様も異性に対する安心感が持てると思います。また、基本的に女性従業員が男性トイレを清掃する現場が大半ですが、そこで重要なのは、作業中に異性のお客様が入ってこられた場合は、洗面台の方に移動するなど必ずその場から一旦離れるように指導しています。

これらの対策で、ここ10年以上は異性のクリーンスタッフに対するクレームは1件もありません。やはりデリケートな問題ですが、私達クリーンスタッフが作業中もこのような点に意識を向けながら取り組み行動していれば、乗り越えられる問題ではないかと思えます。

このような問題は、世代間によって受け止め方は違ってくるのではないかと思います。また、時代の風潮などに沿って対応していくことも大切なのではないかと考えさせられました。ぜひ、皆さんからのご意見、ご感想もお聞かせください。

[参考:ビルクリーニング2022. 08、クリーンシステム科学研究所出版]

